

信州大学医学部附属病院 産婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年 9月6日

「日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会：本邦における子宮頸癌に対する妊孕性温存手術（単純子宮頸部摘出術、準広汎子宮頸部摘出術、広汎子宮頸部摘出術）の実態調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

| | |
|-----------------|---|
| 倫理審査承認番号 | 4136 |
| 研究課題名 | 日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会：本邦における子宮頸癌に対する妊孕性温存手術（単純子宮頸部摘出術、準広汎子宮頸部摘出術、広汎子宮頸部摘出術）の実態調査 |
| 所属(診療科等) | 産婦人科 |
| 研究責任者(職名) | 山田靖(助教) |
| 研究実施期間 | 倫理委員会承認日～2020年3月31日 |
| 研究の意義、目的 | 広汎子宮頸部摘出術の施行施設、手術適応基準、手術術式、全摘への移行率、長期予後、妊娠に至る経過、妊娠した症例の転機について後方視的に実態調査を行い、本邦での現状を把握したうえで、今後、広汎子宮頸部摘出術をどのように質を担保したうえで普及させていくべきかを検討することを目的とします。 |
| 対象となる患者さん | 2009年1月より2013年12月の間に頸部摘出を行う予定で手術を開始された方 |
| 利用する診療記録／検体 | 手術適応基準、手術術式、全摘への移行率、長期予後、妊娠に至る経過、妊娠した症例の転機など |
| 他機関への試料・情報の提供方法 | 記録媒体、郵送により提供します |
| 研究方法 | 過去の診療記録より上記の内容を収集し、解析します。 |
| 共同研究機関名 | 東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 三上 幹男 岐阜大学医学部産婦人科 森重健一郎 鹿児島大学医学部産婦人科 小林裕明 慶應義塾大学医学部産婦人科 田中京子 大阪大学医学部産婦人科 吉野潔 東北大学医学部産婦人科 徳永英樹 九州大学医学部産婦人科 奥川馨 三重大学医学部産婦人科 池田智明 千葉大学医学部産婦人科 生水真紀夫 |

| | |
|--------|--|
| | 東北大学医学部産婦人科 八重樫伸夫 新潟大学医学部産婦人科 榎本隆之 日本産科婦人科学会専攻医指導施設(信州大学を含む) |
| 研究代表者 | 主任施設の名称:東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 研究責任者:三上 幹男 |
| 問い合わせ先 | 氏名(所属・職名): 山田靖(産婦人科・助教) 電話:0263-37-2719 |

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である東海大学医学部専門診療学系産婦人科学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。